

KOBELCO
マルチ解体機
自動車解体
エンジン解体
一般廃棄物



コベルコ建機 電話03-5789-2111

日本ELVニュース

End of Life Vehicle

1年6回発行(1月 3月 5月 7月 9月 11月)

発行人 酒井清行
日本ELVリサイクル機構
〒105-0004
東京都港区新橋3-2-2 一美ビル5階
電話 03-3519-5181
発行所(業務委託) 株式会社日刊市況通信社
大阪 大阪市中央区日本橋1丁目17-20 日本橋丸中ビル5階
本社 電話 06-6631-5651

JAERAインストラクター全国大会を開催 ~JAERAインストラクターが作る、新たな技能集団!!~

3月13日にビッグサイトで

日本ELVリサイクル機構(酒井清行代表理事)は、フロン類・エアバッグ類の適正処理指導にあたるJAERAインストラクターの全国大会を「JAERAインストラクターが作る、新たな技能集団!!」をテーマに、3月13日に東京ビッグサイトで開催する。インストラクターのさらなるレベルアップを図りたいと考えた。

JAERAインストラクターは、フロン類・エアバッグ類の適正処理・処理に関するELV機構会員への指導を行う目的で、ELV機構と自動車再資源化協力機構(JARPC)が実施した所定の講習を受けた全国51名が認定を受けている。それぞれの地域で講習会を実施し、フロン・エアバッグの適正処理手順を指導すること、ELV機構会員の適正回収・処理などの技術水準



会場となる東京ビッグサイト

自動車リサイクル・環境フォーラム 北海道で6月6・7・8日開催

今年7月に北海道で開催される洞爺湖サミット(先進国首脳会議)を記念して、ELV機構は6月6日、7日、8日の3日間、札幌市の札幌コンベンションセンターで「自動車リサイクル・環境フォーラム in 北海道」(実行委員長 南可昭 ELV機構副代表理事)を開催する。ELV機構社員総会・全体集合同も合わせて開催する。

洞爺湖サミットでは環境問題が主要テーマとして取りあげられる。環境問題に世界的な関心が集まる中、自動車解体業界として地球環境問題への取り組みを探るのがフォーラム開催の狙い。自動車関連業界のほか、広く一般の自動車ユーザーや市民団体へも自動車リサイクルや使用済自動車の適

正な処理の重要性を訴える。フォーラムでは、ELV機構社員総会・全体集会のほか、テーマ別の分科会を開催。2日目は、基調講演、自動車関連業界の代表と消費者を交えたパネルディスカッション、環境関連映画の上演。3日目はエコツアーなどを企画している。

また今回のフォーラムでは、関連企業などの商品や活動を伝える展示ブースも設置し、自動車リサイクル関連の一大イベントにしたいと考えた。

07暦年の使用済自動車引取台数 370万5千台(20万台増)

使用済自動車の07暦年累計の引取台数が、前年実績を約20万台上回る約370万5千台となること、自動車リサイクル促進センターの調べで分かった。年間引取台数は自動車リサイクル法の施行から3年連続で前年実績を上回った。

自動車リサイクル促進センターによると、07暦年の使用済自動車の引取報告件数は370万5千件(前年同月比6%増)だった。フロン類回収工程の引取報告件数は277万件(同7%増)。解体工程は386万5

千件(同6%増)、うち同一工程内の移動報告件数は15万7千件。破碎工程は624万3千件(同10%増)、うち同エアバッグ処理台数は93万

6千台(同42%増)。ASRR処理台数は36万台(同5%増)、うち認定全部利用台数は36万8千台だった。

ASRR一時荷受ストップ 小名浜製錬で「湯漏れ事故」 12月中に復旧し通常荷受にメド

2基の反射炉を使いASRR(自動車シュレッダーダスト)などの処理を行っている小名浜製錬で昨年

11月20日、溶融した金属が漏れ出す「湯漏れ事故」が発生した。2基の反射炉のうち1

基の炉床が損傷したもので、65年(昭和40年)の操業以来初めてのケース。直ちに2基の反射炉の操業を止めたが、1週間後無事だった炉を使い1基体制で操業を再開した。損傷炉は12月26日から炉内の温度を上げる昇温

作業(反射炉内の温度を非鉄溶解が可能なら200度まで上げる)に入った。この昇温作業が順調にいけば、従来どおりの2基操業体制に戻る。ASRRの引き取りは、事故直後は全面ストップ、1基操業となった12月10日以降は法律上の在庫制約から「極端な制限」を実施しているが、通常操業に復帰すれば、通常荷受体制に戻る。

【日刊市況通信提供】

鉄スクラップの国内販売・輸出 廃モーターリサイクル

セルモーター ラジエタープレス ハーネス 白黒エンジン etc 求む

リサイクル・カンパニー



大原商事株式会社

本社 大阪市西淀川区花川2丁目21番12号 大原ビル
TEL 06-6473-1898(代) FAX 06-6473-5827
集荷ヤード 大阪港内櫻島埠頭・尼崎港・伊万里港
海外 韓国・中国

インターネットで 廃車が集まる!?

まず第1歩は
ホームページの製作から

製作料	10万円~
製作期間	1週間~

●詳しくは <http://hphp.boj.jp> をごらん下さい。

(有)プラスワン 栃木県佐野市北茂呂町7-6
TEL 0283-21-0205 FAX 0283-21-0265
直通 担当 ミエダ 090-4748-7470

自動車リサイクル法もいよいよ4年目に入り、リサイクル料金の車検時預託は1月をもって完了します。基本的には3年以上の長期在庫車や構内作業車を除き、すべての車のリサイクル料金が預託済みとなります。

平成19年度に入ってから引取報告台数は、前年度に比べ平均5.7%増加しています。もしこのままの増加率で推移するとすれば今年度の引取台数は370万台前後になりそうです。

また、今年度の新車販売は前年比で6.3%ほど落ち込んでいます。このままの下落率が続くのであれば、前年度よりも35万台ほど少ない525万台前後に落ち込みそうです。燃料の急激な高騰とアメリカのサブプライムローン問題に端を

発した日本経済の先行き不透明化という環境を考えると、20年度になっても新車販売の増加は期待が持てずうにありません。

さらに中古車輸出は、ロシアを中心に堅調に推移しており、年間150万台に達するようになっています。その一方で、鉄スクラップや貴金属、レアメタルを

中心としたマテリアル市況は、かなり高いレベルで激しい動きが予想され、仕入れ価格の設定が難しい年になりそうです。このように見ると、今年度は自動車リサイクル業界に



経済産業省自動車課企画官
自動車リサイクル室長
高橋政義氏

輸入業者、引取業者・解体業者等関係事業者及びユーザーの皆様方の温かいご支援の賜物と感謝しております。

新年明けましておめでとうございます。

自動車リサイクル法は、お陰様で完全施行から4年目を迎えることができました。18年度は357万台の使用済自動車と同法に基づき適正処理されるなど、概ね順調に推移しております。これも自動車メーカー、

最後に、自動車リサイクルに関する皆様方が益々ご発展されますことを、心からお祈り申し上げます。

年頭所感

「ユーザーの接点」大切に

代表理事 酒井清行

「ユーザーの接点」大切に。素材販売において扱ひ量は、今年度の多寡は、価格差となって現れることは市場の常識です。しかし、市況の変化はすべてのプレーヤーにとつて公平です。ある物が「いかく拾う必要があるか」という情報は

奪われて、解体業者の本分的に情報交換を行い、共同であるリサイクルパーツを忘れてはなりません。「何べきです。私はず前から「ユーザーフレンドリーな業界」に生まれ変わろうというのを

「ユーザーフレンドリーな業界」に生まれ変わろうというのを。車が使用済みになったときに最も有利な立場にいるのがその持ち主とすれば、ユーザーが最も恩恵を享受できる立場にしなければなりません。しかし現実には、ユーザーに代わって適正価格に買取られ、汗を流して元しなければならぬ立場のこの難局を乗り切らなければならない。法によって課税はありせんか。

また、最近では車の使用期間が長くなり、長期化している。その場合に、どんな部品のニーズが増えるか、ということも付加価値を高めていくには非常に重要な情報になるはずだ。その他に、付加価値を高める有効な方法として、地域組合や同業者同士の情報交換が挙げられます。積極的に

「ユーザーの接点」を大切に。自動車リサイクル法4年目、いよいよ生き残り争いが激しくなっています。ユーザーにとって最も恩恵を享受できる立場にしなければなりません。しかし現実には、ユーザーに代わって適正価格に買取られ、汗を流して元しなければならぬ立場のこの難局を乗り切らなければならない。法によって課税はありせんか。

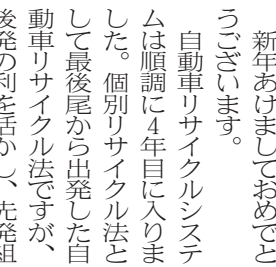
「ユーザーの接点」大切に。また、最近では車の使用期間が長くなり、長期化している。その場合に、どんな部品のニーズが増えるか、ということも付加価値を高めていくには非常に重要な情報になるはずだ。その他に、付加価値を高める有効な方法として、地域組合や同業者同士の情報交換が挙げられます。積極的に

「ユーザーの接点」大切に。また、最近では車の使用期間が長くなり、長期化している。その場合に、どんな部品のニーズが増えるか、ということも付加価値を高めていくには非常に重要な情報になるはずだ。その他に、付加価値を高める有効な方法として、地域組合や同業者同士の情報交換が挙げられます。積極的に

「ユーザーの接点」大切に。また、最近では車の使用期間が長くなり、長期化している。その場合に、どんな部品のニーズが増えるか、ということも付加価値を高めていくには非常に重要な情報になるはずだ。その他に、付加価値を高める有効な方法として、地域組合や同業者同士の情報交換が挙げられます。積極的に

「ユーザーの接点」大切に。また、最近では車の使用期間が長くなり、長期化している。その場合に、どんな部品のニーズが増えるか、ということも付加価値を高めていくには非常に重要な情報になるはずだ。その他に、付加価値を高める有効な方法として、地域組合や同業者同士の情報交換が挙げられます。積極的に

「ユーザーの接点」大切に。また、最近では車の使用期間が長くなり、長期化している。その場合に、どんな部品のニーズが増えるか、ということも付加価値を高めていくには非常に重要な情報になるはずだ。その他に、付加価値を高める有効な方法として、地域組合や同業者同士の情報交換が挙げられます。積極的に



環境省廃棄物・リサイクル対策部
自動車リサイクル対策室長
松澤 裕氏

新年あけましておめでとうございます。自動車リサイクルシステムは順調に4年目に入りました。個別リサイクル法として最後尾から出発した自動車リサイクル法ですが、後発の利を活かし、先発組の経験や廃棄物処理法の不適正処理対策の抜本強化を踏み台とし、電子マネー

新年あけましておめでとうございます。

環境省廃棄物・リサイクル対策部自動車リサイクル対策室長。松澤 裕氏。新年あけましておめでとうございます。自動車リサイクルシステムは順調に4年目に入りました。個別リサイクル法として最後尾から出発した自動車リサイクル法ですが、後発の利を活かし、先発組の経験や廃棄物処理法の不適正処理対策の抜本強化を踏み台とし、電子マネー

最後に、自動車リサイクルに関する皆様方が益々ご発展されますことを、心からお祈り申し上げます。



自動車再資源化協力機構
理事業務部長
加藤 誠氏

平成20年と成人になりました。が、リサイクルシステム及び当機構は歩き始めてようやく5年目です。今後もJAEERA殿及び会員の皆様と相互に協力し、エアバッグ自己監査講習会、JAEERAインストラクター制度立上げ及び、インストラクターによるフロン・エアバッグ講習会など、大変充実した活動が展開し活躍をお祈りいたします。

新年明けましておめでとうございます。

自動車再資源化協力機構理事業務部長。加藤 誠氏。平成20年と成人になりました。が、リサイクルシステム及び当機構は歩き始めてようやく5年目です。今後もJAEERA殿及び会員の皆様と相互に協力し、エアバッグ自己監査講習会、JAEERAインストラクター制度立上げ及び、インストラクターによるフロン・エアバッグ講習会など、大変充実した活動が展開し活躍をお祈りいたします。

最後に、皆様様の益々の発展と活躍をお祈りいたします。

サイドプレス(製造・直販)



- 製造メーカーの直販
- 納入実績100台
- サイドプレス(商標登録)
- 基礎工事不要・設置・導入コストを大幅削減
- 超低騒音・高性能・堅牢・経済性を誇る

2方締型式	3方締型式	投入ボックス寸法
KY-26	MKY-26	860×2000×2560
KY-33	MKY-33	860×2000×3300
KY-35	MKY-35	860×2000×3500
KY-51	MKY-51	860×2000×5100
KY-53	MKY-53	860×2000×5300

日本資源機械工業協同組合員
三筒産業株式会社

本社・工場 高松市新田町甲73番地の1 電話(087)841-3131代・FAX 841-2506
http://www.niji.or.jp/home/m-mito/

VRC会議・新年会に21名参加

ウィークルリサイクルクラブ(=VRC)代表 吉川日生(株)シーパックス社長)は1月19日「VRC会議・新年会」を、広島市のホテル



挨拶する吉川日生VRC代表

ニューヒロデンで開催、来賓、組合員ら21名が参加した。会議では、中国プロックで10月頃に行ったJAE RAINストラクターによる講習会の報告などが行われ、実際に講習業務に当たった森野大介氏(シーパックス)は「整備業者などは「整備業者などE L V機構会員外からの参加もあり、関心が高いことが分かった。今後とも

「現在の仕組みだと」破産業者が引取報告」を行い、「解体通知記録日」が発行されないと重量税の還付申請ができない。中古部品の取り外しや解体処理をする解体工程には4ヶ月間が認められているが、ディーラーなどから「解体通知記録日」の早期連絡を迫られれば、結果的に断ることが出来ず、破砕工程に送らざるをえない現状がある」とし、「十分なリユース期間を持つことも難しく、そのためには還付金立替などの新たな資金も必要

から「解体通知記録日」の早期連絡を迫られれば、結果的に断ることが出来ず、破砕工程に送らざるをえない現状がある」とし、「十分なリユース期間を持つことも難しく、そのためには還付金立替などの新たな資金も必要

フロン・エアバッグ講習会

岩手組合・富山組合で実施

それぞれ20名が参加

JAE RAINストラクターを講師としたE L V機構員向けのフロン・エアバッグ類適正処理講習会が全国の地域組合で実施された。岩手県自動車リサイクル協議会(会長 山崎 隆)は昨年11月24日、約20名が参加して講習会を開催



岩手県自動車リサイクル協議会



富山県自動車解体部品組合

酒井代表理事と栃木県自動車リサイクル協議会の三枝透会長は昨年8月1日〜7日、中古部品市場の現状を視察するためロシア・イルクーツク市を訪れた。ロシアは、日本の中古車の最大の輸出先であり、中古部品の需要も高く、今後も注目される市場だ。三枝会長の現地レポートを3回にわたって連載します。

◆ロシアの国土、歴史

日本の約45倍の面積、人口は日本とほぼ同じくらい。訪問したバイカル湖はロシアのほぼ中央(モンゴルのすぐ北側)。世界最大の淡水湖で世界の淡水の20%がこのあると言われている。非常に透明度が高く40m先まで見えるらしい。

◆ロシアの経済

もう10年ほど前になるだろうか、ロシアの漁船が日本に蟹を運んできて、帰りに手荷物扱いで日本の中古車を所持帰国してTV番組が放映された。たしか5万円までが手荷物だったろうか? 「ああ、ロシアは貧しい国なんだ」と感じたのは私だけではないはずだ。物が不足しているスーパーの店頭にはわずかの商品だけしかなかった。しかし、2007年は

ロシア訪問レポート①

夏のイルクーツク市・8日間

栃木県自動車リサイクル協議会 三枝透会長

◆ロシアの道路事情

ロシアの道はガタガタである。当然街中はきれいに修復されているが、ちょっと郊外に出るとアスファルトは凹凸。砂利



日走ると3、4回事故の現場に出会う。板金工場が忙しいのが理解できる。

◆ロシアの純国産車

アウトヴァス車のラダーがある。そしてポルガが有名(私は知らなかった)である。1991年に5社あった

ロシアでは冬の温度が非常に低くなるので塗装ブースは必需品のようにある。ブースを持っていない板金工場はいらない。4社ほど板金工場を訪問したが塗装ブース完備。上下圧送、室温調整付であった。仕上がりが非常によく、下手な日本の板金工場よりはるかにきれいである。15人いた板金工場では塗装のミキシング機や太陽光に近いライトまで持っていた。なかなかここまで完備している板金工場は日本でもないと思う。驚いたことに日本で使っている部品ソフトまで持っていて見積もり役立てていた。板金工場によって違うが、大まかにわけると保険会社の仕事を主体にやっているところがある。一般ユーザーは事故のとき、保険会社指定の板金工場はいやがるという。保険会社は値段を叩いて安い修理をするから信用がないみたいだ。日本とは事情がちがうみたいだ。日本のような下請け形態はなく一般ユーザーが直接持ち込むケースが多いらしい。

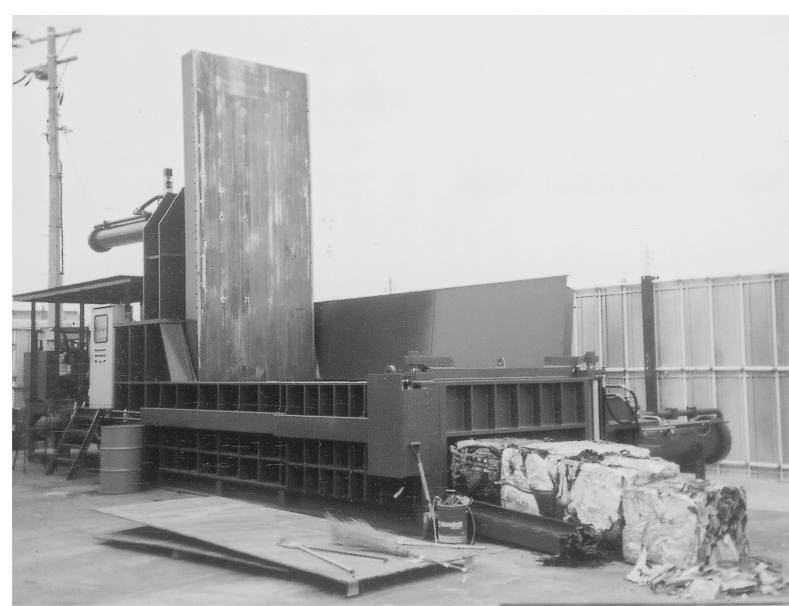
ロシアの板金工場はどれもバブル状態で訪問した会社は2ヶ月待ち。紹介がないと仕事を請けないといううらやましい話をしていた(昨年からのすべての車両について自動車保険を掛けることになったので保険での修理が相増えたのだらう)。

【次号に続く】

※その他各種プレス機を製作。



三方締廃車プレス機 (横蓋式)



三方締廃車プレス機 (縦蓋式)

北海道自動車処理協同組合 「ゴミ回廊」の撤去作業に協力

札幌市清田区の雑木林に約700台の廃自動車、廃家電などが不適正に放置され、全国的にも「ゴミ回廊」として報道されていた問題で、札幌市は

廃車163台を撤去

昨年11月、約2600万円の費用をかけて行政代執行による撤去作業を実施した。



放置された不適正廃棄物



撤去後の「ゴミ回廊」

車処理協同組合(南昭理事長)が、札幌市に協力。26名が参加して、廃車を有償で買い取り、

それぞれの車台番号をチェックし回収。回収後は、自動車リサイクル法に基づいた適正処理を行った。北自協では道内の不法投棄車両、放置車両などの回収・処理などに積極的な取り組みを続けてお

北自協では、昨年11月、

定山溪温泉で

タイヤ4千本を撤去

続々3回目。

札幌市の定山溪温泉の投棄タイヤ4000本を、札幌市の委託を受けてボランティアで撤去・回収した。定山溪での撤去回収作業は、2004年、2005年の廃車撤去に

大阪自動車リサイクル協同組合 青木豊彦氏を招き講演会

「解体業をモノづくりのプロが斬る」

大阪自動車リサイクル協同組合(寺谷優理事長)は昨年12月1日、大阪のIMPビルで講演会を開催した。

講師はELV機構総会でも講演を行った「東大阪モノづくり親善大使」



日本ELVリサイクル機構ホームページ
会員専用情報を充実へ!

<http://www.elv.or.jp>

最近「車の渋滞アリの行列」(技術評論社)という本を読みました。著者は、東京大学の西成活裕准教授。切り口が斬新で、非常に面白い本だったのでその一部を紹介したいと思います。

西成准教授は、渋滞学(Jamology)という学問を提唱しており、「自己駆動粒子の流れ」とその渋滞について研究する学問」と定義しています。

口になります。密度が高くなると流量もそれに比例して多くなるところが、大渋滞で車が動かないような場合、流量はゼロで、密度は最大になります。この状態は、1キに150台の車が詰め込まれると発生するということです。つまり、密度と流量の関係は、渋滞学が対象

とするようなものにおいては、最初はほぼ正比例関係で進行し、ある点を超えると逆比例するようになります。この関係が逆転するときの密度を「臨界密度」というのであります。

西成准教授の調査によると、車の場合の臨界密度は1キあたりに25台の車が走行している状態で、このときの平均車間距離は40ミ、速度は時速60キになるそうです。

この状態で走行している車が渋滞となってしまふ原因で一番多いのが「緩い上り坂」で全体の35%を占め、次が「事故」



酒井代表理事の
またのなみ見聞
Vol.4

パレットの「渋滞」解消!!

カーパレットコンドロー

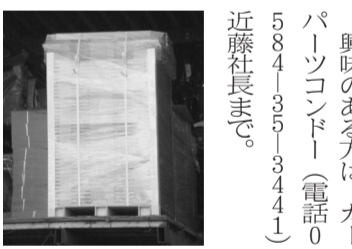
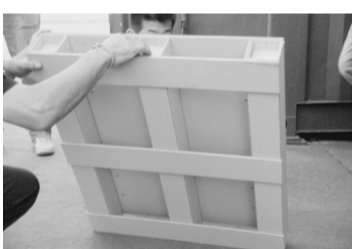
パレットの渋滞を解消するために、カーパレットコンドローが開発されました。

カーパレットコンドローは、パレットの渋滞を解消するための装置です。

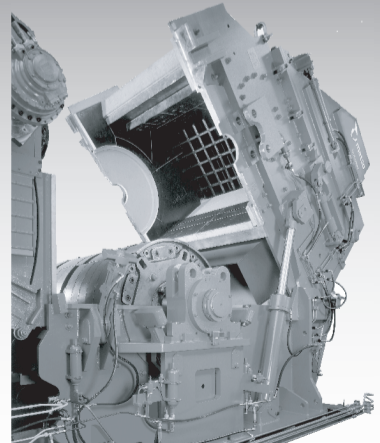
カーパレットコンドローは、パレットの渋滞を解消するための装置です。

カーパレットコンドローは、パレットの渋滞を解消するための装置です。

カーパレットコンドローは、パレットの渋滞を解消するための装置です。



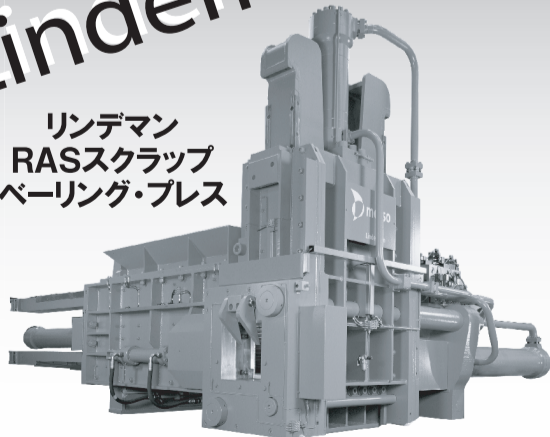
世界に広がる リンデマン ブランド



リンデマン シュレッダー
パワーツァーディラトール

Lindemann

リンデマン
RASスクラップ
ペーリング・プレス



リンデマン
メタルクラッシャー



メッツォ・ミネラルズ・ジャパン株式会社

本社：〒222-0033 横浜市港北区新横浜1-14-11 TEL：045-473-7760

大阪事務所：〒552-0001 大阪市港区波除2-5-17 ドウェル倉本Ⅲ 201 TEL：06-6583-3364

お問合せ：minerals.info.jp@metso.com URL:www.metsominerals.com/jp

